

平成 29 年度  
事業報告書

島根県西部視聴覚情報センター

平成 30 年 3 月 31 日 現在

## 1 施設名称

島根県西部視聴覚障害者情報センター（開設 平成 12 年 4 月 1 日）

## 2 所在地

浜田市野原町 1826-1

## 3 事業計画の達成状況

### 『利用者の拡大』

| 実行計画  |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・各市町の福祉窓口にセンターのパンフレットや利用案内（墨字・点字・録音）、広報用チラシを送付し、身体障害者手帳の申請時等にセンターの紹介と適切な資料の配布を依頼する。</li><li>・県の広報媒体を使ってセンターの業務内容の周知を図るよう依頼する。</li><li>・各市町又は各市町社会福祉協議会の広報紙及びホームページにセンターの紹介記事を掲載するよう依頼する。</li><li>・国や県の機関、公共施設、社会福祉施設、眼科医等を訪問し、来訪者へセンターの広報用チラシを配布するよう依頼する。</li><li>・センターが参加するイベントで広報用チラシを配布する。</li><li>・センターのホームページ及びフェイスブックで施設情報を発信する。</li><li>・新たな手話動画を制作し、ホームページに掲載する。</li><li>・スカイプを使った中継連絡サービスを本格実施する。</li><li>・マルチメディアデイジー図書製作の可能性を検討する。</li></ul> |
| 評価  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・各市町の身体障害者手帳交付窓口にセンターの利用案内（墨字・点字版、音声版）、パンフレットを配布し、手帳交付時にセンターの紹介を依頼した。</li><li>・県の広報媒体によりセンター業務内容周知を依頼し、掲載された。</li><li>・各市町の広報紙及びホームページにセンターの紹介記事の掲載を依頼し、5 市町の広報誌、3 市のホームページに掲載された。</li><li>・国や県の機関、公共施設、金融機関、福祉施設等に訪問しセンター広報チラシを配布した。</li><li>・センターのホームページのニュースリリースを定期的に更新できた。</li><li>・スカイプを利用した中継連絡サービス実施したが利用が 2 件と低調だった。</li><li>・各地区の民生児童委員協議会会合に参加してセンターの広報に努めた。</li><li>・点字図書館の新規利用者 1 2 名増、聴覚ライブラリーの新規利用者 1 2 名増となった。</li></ul>                 |

## 『関係機関・団体との連携』

| 実行計画  |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 6 月下旬に事業推進会議を開催し、センターの現状や課題、本年度事業計画、利用者の実情やニーズ等について意見交換を行い、事業の推進に協力を求める。</li><li>・ 9～11 月に各市町を訪問し、事業推進会議で取り上げられた課題のフォローアップ、平成 30 年度における新たな取組等について意見交換を行う。</li><li>・ 必要に応じて浜田ろう学校、全視情協島根あさひ事業所、各市町社会福祉協議会等を訪問し、意見交換を行う。</li></ul>      |
| 評価  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 6 月 28 日県障がい福祉課、管内市町、視聴覚障がい者団体等の参加を得て事業推進会議を開催し、当センターの課題や取り組みを説明し、意見聴取と協力依頼を行うとともに、各市町、団体と情報交換を行った。</li><li>・ 各障がい者団体の会議に参加し、意見交換を行った。</li><li>・ 浜田ろう学校を訪問し、意見交換を行うとともに、聴覚障害者情報センターの運営会議に参加し、事業の状況や聴覚障がい者を巡る課題等について情報を共有した。</li></ul> |

## 『各種ボランティアの養成・確保』

| 実行計画   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県の広報媒体を使って各種ボランティア募集の周知を図るよう依頼する。</li><li>・ 各市町又は各市町社会福祉協議会の広報紙及びホームページにボランティア募集記事を掲載するよう依頼する。</li><li>・ 退職予定の教職員、公務員へボランティア募集チラシを配布するよう依頼する。</li><li>・ 国や県の機関、民間団体、企業等を訪問し、ボランティア募集チラシの従業員回覧や来訪者配布を依頼する。</li><li>・ 各地域で企業等が行っているパソコン講習の受講者にボランティア募集チラシを配布するよう依頼する。</li><li>・ 養成講習修了者を対象としたスキルアップ講習会を定期的を開催する。</li><li>・ ボランティアグループの自主的勉強会に職員を派遣し、スキルアップを支援する。</li><li>・ 高度な技術の習得に意欲的なボランティアを点字指導員講習会、音訳指導技術講習会等に派遣する。</li></ul> |
| 評価   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県の広報媒体を使って各種ボランティア募集の周知を図るよう依頼し、情報カフェしまねで放送された。</li><li>・ 各市町広報紙で、各ボランティア養成講習会（点訳・音訳・テキスト入力編集）の受講者募集記事がそれぞれ掲載された。</li><li>・ 平成 30 年 3 月退職予定の公務員（教職員、県職員、浜田・益田・江津市職員）へボランティ</li></ul>   |

ア募集チラシの配布を依頼した。

- ・点訳ボランティアのスキルアップ講習会を毎偶数月に実施した。
- ・朗読ボランティアのスキルアップ講習会を3月に実施した。
- ・3つの点訳ボランティアグループの自主的な勉強会へ職員を派遣した。(2グループは毎月1回、1グループは毎奇数月1回)
- ・3つの朗読ボランティアグループの自主的な勉強会に職員を派遣した。(2グループは毎月1回、1グループは年2回)

### 『意思疎通支援者等の養成・確保』

#### 実行計画

- ・社会福祉協議会等が行う同行援護従事者及びガイドヘルパーの養成研修に職員を講師として派遣する。
- ・各地域で活動する点訳・音訳奉仕員の養成・確保について、各市町、ボランティア団体等と今後の対応を協議する。
- ・市町が実施する手話奉仕員養成講習に対して人的な支援（講師派遣、相談等）を行う。
- ・手話通訳者及び要約筆記者の養成講習について、西部地域の実情に配慮して実施するよう県、聴覚障害者情報センター等に働き掛ける。

#### 評価

- ・県の同行援護従事者養成研修に歩行訓練士の資格を有する職員を講師として派遣した。
- ・江津市及び浜田市手話奉仕員養成講習会に手話通訳士の資格を有する職員を講師として派遣した。
- ・平成29・30年度、手話通訳者養成講習会が大田市で、要約筆記講習会が浜田市で開催された。

### 『職員の専門的能力の育成』

#### 実行計画

- ・昨年度、職員の一人が点字指導員資格認定講習を受講したことから、引き続きOJTを実施し、点字指導員の資格取得を目指す。
- ・全国視覚障害者情報提供施設協会、中国四国点字図書館連絡協議会等が主催する研修会に職員を派遣する。
- ・年間6回の所内研修を行い、視聴覚障がい者を取り巻く社会状況、社会福祉制度、日常生活用具等について理解を深める。

#### 評価

- ・点字指導員の来年度資格取得のため引き続きOJTを実施する。
- ・関係団体が主催する研修等へ職員を派遣した。
- ・年間6回の所内研修を計画し、4回実施した。

## 『視覚障がい者のICT活用の支援』

| 実行計画   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・OJT等により職員の視覚障がい者ICT活用支援能力を高める。</li><li>・必要に応じてパソコンボランティアのフォローアップ講習を実施する。</li><li>・様々な機会を通して視覚障がいの利用者に情報機器の利用を呼び掛け、そのための講習等を実施する。</li><li>・情報機器が使用できない利用者に対して、センターがリクエストに応じて「サピエ」等から情報をダウンロードして提供する。</li></ul> |
| 評価   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・職員間で最新機器やソフトの情報を共有するように所内研修を行なった。</li><li>・IT講習を、集合研修1回（9名参加）と個別指導3名（全10回）を実施した。</li><li>・情報機器が利用できない利用者に対して、リクエストに応じて「サピエ」から点字データ、デイジーデータをダウンロードして貸し出しをした。</li></ul>   |

## 『機器情報の提供』

| 実行計画   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・障がい者向け新聞・雑誌、インターネット、メーカー等から最新の機器情報を収集し、利用者に提供する。</li><li>・管内4箇所機器展示相談会を開催し、展示用補装具・日常生活用具やメーカー出展の最新機器等により来場者への紹介、試用等を行う。</li><li>・予算の許す限り展示用補装具・日常生活用具等の更新を行う。</li></ul> |
| 評価   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・機器の相談があった場合、インターネット等で調べて最新の情報を提供するように努めた。</li><li>・管内3箇所機器展示会を開催した。</li><li>・かわらばんに機器情報を掲載した。</li><li>・ソフトのバージョンアップ、便利グッズ、日用品等の更新を行った。</li></ul>                        |

## 『地域活動の実施』

| 実行計画   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・学校や団体の福祉学習を積極的に引き受けるとともに、浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、児童生徒や住民の視聴覚障がいへの理解を促進する。</li><li>・官公庁や公共施設等へ出向き、窓口職員を対象として「窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座」を実施する。</li><li>・視覚障がい者の来訪がある職場に出向き、「視覚障がい者対応研修」を実施する。</li><li>・公的機関・団体が使用する封筒の点字印字を積極的に引き受ける。</li></ul> |

| 評価  |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市福祉ゾーンふれあいまつりに参加し、来場者 20 名に機器を展示、紹介をした。</li> <li>・各団体からの要請で、移動介助、視覚障がい体験等を 4 回実施した。</li> <li>・封筒の点字印字の取次ぎ・斡旋を引き続き行なった。</li> </ul> |

### 『島根あさひ社会復帰促進センターの活用』

| 実行計画  |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストデータ（テキストデイジー図書の半製品）の製作依頼を拡大する。</li> <li>・新たな作業の導入の可能性について「あさひ」と協議する。</li> </ul> |
| 評価  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・86 タイトルの図書のテキストデータ化を依頼した。</li> <li>・テキストデータ化事業の拡大について協議している。</li> </ul>             |